

## 第5学年 図画工作科 授業構想シート

授業者 西原 有香莉

本実践の主張点	自他の作品を多様に捉えなおす視点が生み出される鑑賞活動を行うことで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるであろう。
---------	---

1. 単元名 アルミ王国へのおくりもの～形を生かそう，形をつくろう～
2. 5年C組の子ども

### 3. 何ができるようになるか

探究力	「形」の造形的な特徴を理解することで、イメージを膨らませ、新たな表し方を考えつくり出そうとする力
省察性	自他の作品から多様性を感じ取ると共に、自らが創造者であることの自覚とその可能性を見出す力

### 4. 何を学ぶのか

#### ① 単元の目標

- ・身の回りにあるものの形，それらの組み合わせによる造形的な特徴を理解し，工夫して立体構成する（知識・技能）
- ・組み合わせによる形のよさを感じ取ると共に，形の造形的な特徴を生かした立体構成を多様に試みる（思考力・判断力・表現力）
- ・新たな形をつくり出す喜びを味わい，多様な形をつくり出すことができる可能性を感じる（主体的に学習に取り組む態度）

#### ② 教材の価値

身の回りは、たくさんの“もの”であふれている。学校だけでも、鉛筆、ランドセル、水筒、絵具セットに入っている筆洗、パレットなど数え切れないほどである。それらのものは全て違った“形”をしているが、それぞれの形は「これは、こういうものだ。」と無意識の内に認識されているだろう。しかし、その“形”を改めて見てみると、意外にとがっていたり、まるいところがあったり、でこぼこしていたりする。なんとなく形が似ているものもあるだろう。“形”というと、四角形や三角形といった幾何学的な形を連想しがちであるが、実は身の回りはあらゆる“形”で囲まれているのである。そのような日常にあるものも形として認識することで、“形”の多様さへの気付きにつながると考える。

しかし、身の回りには、機能的であるがゆえに“道具”としての認識が強く、“形”として捉えることが難しい。そこで、機能性をなくすと共に色や形を同じものとし、“形”として捉える手段として、アルミホイルで包む活動を行う。アルミホイルは銀色で不透明であることから、道具としての認識から脱却できると考える。また、アルミホイルの特性から、対象とするものの形を保持したまま包み込むことを可能とし、包む行為の中で触覚的にそのものの形をつかんでいくことができる。

そして、以上のようにしてできていく形を積み重ねるなどの組み合わせをすることで、さらに新たな形づくりをしていく。重ねる向きや置き方を試行錯誤することで、それぞれの形のよさや特徴を改めて実感できると共に、その特徴を生かそうとすることに繋がると考える。また、積み上げて完成させた形をiPadで撮影する。その際、どこから撮影するのかで、また形の見え方が変わる。撮影の視点を模索する中で、形の積み重ね方をもう一度調整し始めることも予想される。以上のような活動により、造形的な視点で“形”を捉え、造形的な特徴の理解へ繋がると考える。

③ 学年間・教科間のつながり

中学年までは、木やねんどなどの自然体験を彷彿させる素材による立体の表現活動が多い。これまでの全身的な感覚体験を重要視し世界を認識していくといった経験を生かし、本題材では手の感覚を働かせ、触覚的にももの形を理解していく手段として、アルミホイルで包む活動を設定した。また、本題材では機能性をもたず、何にも見立てられない第3の形をつくることから、国語「見立てる」の内容を導入的に扱うことで、「見立てられない形」の理解やつくり出すことへの意欲につながられるようにしたい。さらに、身の回りにあるものの形に目を向けていくことで、造形的な視点でのみならず、計算されてつくり上げられた工業製品としての視点からの理解もねらっている。これは、後の社会科「工業生産とわたしたちのくらし」における工業製品に見られる人の工夫に関する気付きへとつなげていきたいと考えている。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる    つなげる    まとめる    広げる    予想する    見方を変える

④ 学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

単元計画（全4時間） 本時3/4 1次 身の回りの“もの”を“形”に変身させよう ①銀色アルミの“形”に変身させよう ②“形”に変身させるとおもしろそうな“もの”を他にも包んでみよう  2次 アルミ王国へのおくりものをつくらう ①アルミ王国へのおくりものをつくらう（本時） ②形のよさをプレゼンしよう	単元における授業づくりのしかけ
	探究力を育む <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象表現の彫刻家の作品の鑑賞をすることで、“形”は何らかのイメージをもたらすことの実感を促すと共に、自己の感性に基づく“形”の表現の探究を促す。</li> <li>身の回りにある“道具”を“形”として捉えなおすことで、対象の形に親しみを感ずることから、造形のよさを生かそうとする意欲を高める。</li> <li>身の回りにある形を組み合わせることで立体構成することにより、形の造形のよさの模索を促す。</li> </ul>
	省察性を育む <ul style="list-style-type: none"> <li>彫刻作品の対話型鑑賞による異なる感じ方の実感により、自己の表現の価値を多様に感じ取れるようにする。</li> <li>iPadで撮影することにより、自身の表現の仕方を再度見直し、よりよい表現の探究に向かえるようにする。</li> </ul>

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにあるものの形のよさを生かし、積み重ね方を多様に工夫しながら立体構成をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形に関する造形的な特徴を生かした組み合わせ方を、多様に試みている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにある形の多様さに気付くと共に、その組み合わせのよさを感じながら、立体構成を行っている。</li> </ul>

\*単元を通して評価

## 図画工作科学習指導本時案

授業者 西原 有香莉

日時：令和元年6月15日（土）第5校時（13：45～16：30）

対象：第5学年C組 28人

場所：5年C組教室

本時の主張点	身の回りにある形を組んだり、iPad で見る方向を考えて撮ったりすることで、身の回りにある形の造形的なよさや多様さに気付くと共に、立体造形の探究的な学びが実現するだろう。
--------	---

### 1. 本時の構想と学習課題について

前時まで、はさみや鉛筆、のりなどの身の回りにある様々な道具を、アルミホイルで包み込むことで、道具を“形”化していった。機能性を持たないただの“形”は、日常的に使用し見ていたものばかりであるが、改めて“形”として認識することで、人によって機能性を求めて作りだされた“形”の多様さに気付くだろう。本時では、“形”は、機能的な形と、自然的な形があることをおさえた上で、ある抽象彫刻家の作品を見せる。機能性を持たないうえに何にも見立てられない形が存在することへの気付きと共に、形は何らかの印象やイメージを与えることの実感を促したい。そのような実感から、機能的でも自然的でもない「第3の形」を、これまでにできた“形”を組み合わせることにより作り出す活動をする。また、「アルミ王国の象徴となるようなオブジェ（展示物）のおくりものづくり」というテーマの設定や、その形のよさが伝わる角度から iPad で撮影を行うことで、自分がつくり出す形の意味を自身で問い直したり、よさや価値を視覚的に多様に捉えなおしたりする活動を促すと考える。そうして、多様に生み出される形を目の当たりにすることで自己の特質や表現の価値の気付きや、自身も“形”をつくり出すことのできる創造者の1人であることの実感などを通して、作り出す喜びを感じながら創造活動ができるようにしたいと考える。

### 2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時における探究的な学びを「どのように、またはどのような方向で形を組み合わせると、形の造形的なよさが生かせるような形になるのか考えること」とする。組み合わせによる形づくりは、何度も組み換えが可能なことから、パーツとなる“形”をあらゆる方向から見て、その形の造形的な特徴を生かそうと試行錯誤する姿が生まれることを予想する。また、「アルミ王国の象徴となるようなオブジェのおくりものづくり」というテーマが、その形にこめる思いをより強めたり、「どのような形が印象的なのかな」という他者意識の思考を働かせたりすると考える。さらに、iPad を通して自己の作り出した作品を見直すことで、自己の作り出した形を「これでいいのかな？」「他にも組み合わせ方はないのかな？」「もっと形（パーツ）のよさが伝わる方向はないかな？」などの視点を持ちながら、表現物を改めて見返したり多様に捉えなおしたりすることをねらう。また、画面を通して見る作品は平面となり、形をシルエットで見ることにも可能にする。そのような、形の異なる捉えなおしが、それぞれがもつ感性に基づいた“よりよい形”に向けて探究的に立体造形していく姿が見られると考える。

### 3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

前時までに作成した形（本時ではパーツとなる）が多種多様であることから、形の多様さには気づいていることを予想している。また、丸みを帯びている部分や角張っている部分があること、凹凸が微妙にあることなども、アルミホイルで包む活動によりつかんでいるだろう。しかし、それらの形に関する気付きは、行為を通して感覚的につかんでいるものの、形の造形のよさや実感を伴う認識までは到達していないと考える。そこで、前時までの形をパーツとして組み替える活動を行うことで、形の造形的な特徴の視覚的な理解を促すと共に、その形のよさを生かすことができることをねらう。

#### 4. 本時の目標

- ・形がもつ造形的なよさを生かしながら，多様な組み合わせによる立体の構成を行うことができる（知識・技能）
- ・形のよさや特徴を感じると共に生かしながら，組み合わせ方を多様に試みる（思考力・判断力・表現力）
- ・形の色々な組み合わせ方を楽しむと共に，新たな形をつくり出すことの面白さに気付く（主体的に学習に取り組む態度）

#### 5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 身の回りにおける「形」について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○使った消しゴムを包んだから，少し短いよ。</li> <li>○家にあった▲▲を形にしてみたんだけど，この部分が気に入ってるよ。</li> </ul> <p>2. 抽象彫刻家の作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これ，何の形かな？</li> <li>○変な形。見たことないよ。</li> <li>○でも，しゅっとしていて早い感じがする。</li> </ul> <p>3. 本時の学習を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">アルミ王国へのおくりものをつくろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの形を使おうかな。</li> <li>○この部分がすきだから，目立つようにしよう。</li> <li>○印象に残るような，かっこいい形にしたいな。</li> </ul> <p>4. 組み合わせてできた形を iPad で撮影する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの角度から撮ると，一番よく見えるかな。</li> <li>○いいと思ってたけど，もう少し重ね方を変えてみようかな。</li> <li>○違う形を使う方がいいかも・・・</li> </ul> <p>5. 活動を伝えあう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ここの重ね方を工夫したよ。</li> <li>○この形（パーツ）が思っていたよりかっこいいね。</li> <li>○こっちの角度から見ると，すき間があるからそれがおもしろいと思ったよ。</li> </ul>	<p>・前時までにつくった形の気に入っているところを紹介し合うことにより，形が多種多様であることを再確認する。また，それらの形は，全て人が機能性を求めて作り出した形であることを確認する。</p> <p>・抽象彫刻家の作品を鑑賞し，形は何らかのイメージをもたらすことを実感できるようにする。</p> <p>・形は機能的なものや自然的なものほかに，機能性を持たない抽象的な形（第3の形）があることを伝え，本時は，第3の形をつくりだすことを確認する。</p> <p>・できそうな組み合わせ方について，話し合ったり伝えたりする。その際，子ども自身でさらに工夫し活動を広げられるようにするため，造形操作は伝えすぎないように留意する。</p> <p>・活動が止まっている子や悩んでいる子には，その子の思いや発想を大切にしながら，周りの友達の表現にヒントをもらうことや，表現したいことを一緒に探す。</p> <p>・角度によって，見え方が変わってくることを伝え，形の組み合わせ方を改めて見直したり，考え直したりすることを促す。</p> <p>・それぞれの表現のよさを，造形物だけでなく，言語で伝え合うことで，活動の意味や価値の明確化を促す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知・技 形がもつ造形的なよさを生かしながら，多様な組み合わせによる立体の構成を行っている。</p> <p>思・判・表 形のよさや特徴を感じると共に生かしながら，組み合わせ方を多様に考えている。</p> <p>主 形の色々な組み合わせ方を模索すると共に，自分なりの新たな形をつくり出すことを楽しんでいる。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">*単元を通して評価</p> </div>